

第 19 回認知リハビリテーション研究会

平成 21 年 12 月 19 日 (土)

会場慶應義塾大学北里講堂 (北里図書館 2 F)

プログラム

開会の辞 13:00

慶應義塾大学 加藤元一郎

I 部 高次脳機能障害 1 13:05~14:05

司会: 慶應義塾大学 加藤元一郎

『Brain Machine Interface (BMI) が拓くリハビリテーションの新たな可能性』

慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室 里宇明元

II 部 グループ研究 14:15~15:15

座長: 帝京平成大学 金子真人

1 失語の言語能力の改善について その 2 — z 得点化した SLTA の実用とその限界 —

神奈川リハビリ病院 ○赤星 俊

2 リハビリ医療における認知機能スクリーニングについて

— 時計描画検査 (CDT) を中心に —

輝山会記念病院総合リハビリテーションセンター ○佐藤弘子 田畑絵美 高橋理夏
本田哲三

3 高次脳機能障害症例に対するグループ訓練

筑波記念病院精神科 ○山里道彦 松岡恵子 井上浩希
山倉敏之
筑波大学大学院人間総合科学研究科 池嶋千秋
筑波大学臨床医学系精神医学 朝田 隆

休憩 15:15～15:30

Ⅲ部 注意のリハビリテーション 15:30～16:10

座長：慶應義塾大学 田淵 肇

4 左半側空間無視患者に対する全般性注意訓練の有用性についての検討

— Modified Attention Process Training を用いて—

清伸会ふじの温泉病院 ○菅原光晴

国際医療福祉大学 鎌倉矩子

同 大学院リハビリテーション学分野 前田眞治

5 四則計算速度と注意力の関係について — Test of Everyday Attention での検討

国立障害者リハビリテーションセンター病院 ○矢作 満

TBI リハビリテーション研究所 山本佐代子 藤井正子

Ⅳ部 症例検討 1 16:10～16:50

座長：京都大学 大東祥孝

6 社会的行動障害を有する患者に対するギャンブリング課題の実施について

相澤病院総合リハビリテーションセンター ○岩波 潤 原 寛美 村山幸照

7 脳梁梗塞後、拮抗失行と失書を中心に脳梁離断症状を呈した一例

相澤病院総合リハビリテーションセンター ○古木ひとみ 貝梅由恵

同 リハビリテーション科 原 寛美

Ⅴ部 症例検討 2 16:50～17:30

座長：昭和大学 三村 將

8 頭部外傷後、解離性健忘と失声を呈し、失声のみが回復した1例

京都大学大学院人間・環境学研究科 ○芦塚あおい 大東祥孝

9 脳炎後に重度記憶障害を呈した症例の回復過程

慶應義塾大学医学部精神神経科 ○斎藤文恵 穴水幸子 加藤元一郎

ご 案 内

会 場 慶應義塾大学北里講堂(北里図書館2F)
〒160-8582 東京都新宿区信濃町 35 TEL 03-3353-1211(代表)

- ★最寄駅は JR 総武線「信濃町」です
- ★駐車場がありませんので お車はご遠慮下さい

受 付 開 始:12 時 30 分
参加費:会員 2000 円 会員外 一般 5000 円・学生 3000 円

- ★学生の方は受付時に学生証をご提示ください
- ★会員の方で年会費(5000 円)が未納の場合はお納めください

進 行 特別講演 : 講演時間 30 分
一般演題 : 発表時間 15 分 質疑応答 5 分

- ★写真・ビデオの撮影・録音はご遠慮ください

連絡先 認知リハビリテーション研究会事務局
慶應義塾大学医学部精神神経科学教室
TEL:03-5363-3829(医局直通) FAX:03-5379-0187
E-mail:cognitiverehabilitation95-08@yb4.so-net.ne.jp